

1. 当ご支援の目的・ねらい (Why)

【目的】

- 半年で障害を半減させることを目標として、御社が実施されるソフトウェアの保守業務の障害削減活動をご支援いたします。
- ご支援は、障害削減活動の計画、検討、実施状況のフォロの範囲で、実施そのもののお手伝いはいたしません。

【ねらい】

- 短期間に確実な障害削減対策の検討が可能です。
- その結果に基づき、確実な対策実施が可能となります。
- その結果、障害発生を大幅に削減していただけます。
- これにより、システム利用者から高い評価をいただけます。
- 保守業務担当の意欲も向上し前向きにさらなる改善活動に取り組まれるようになります。
- 障害削減対応工数が減少することによって、担当は前向きのシステム強化に取り組むことが可能となります。
- その結果、利用者の納得度・満足度を高めることができます。
- 経営からも、保守の成果が評価されるようになります。

2. 当ご支援の内容 (What)、実施方法 (How)

- 障害削減対策を検討される御社メンバを以下の方法でご支援いたします。
- (1) 障害削減の実施プロセスについての助言
 - 「目標設定」「検討実施」「改善実施」「実施状況フォロ(成果の見える化)」の実施方法についてガイドいたします。
- (2) 対策検討実施の支援
 - 御社の検討チームに対して、対策の検討手法を研修いたします(1日。1回に数人×3チームが標準です。利用する検討手法は解決策検討手法として定評のあるMINDO-SAの問題点連関図手法です)。
 - その後、検討チームが実際の対策を検討いただきます(2週間程度の期間で)。
 - その上で、各検討チームは改善計画書を作成いただきます(5W2H方式を利用します)。
 - 検討結果を発表いただく場を設け、そこで各検討チームの検討結果について補強・修正方向についてガイドいたします(半日)。
 - 対策の補強・修正を行った上で改善を実施していただき、定期的に進捗報告会を実施していただきます。進捗報告会に対して遠隔または現場でアドバイスをさせていただきます。
- (3) 障害削減対策集のご提供
 - 両社主催の研究会「SLCM研究会」の活動成果である「障害発生原因と削減対策(保守プロセス別に合計約250件の対策を列挙)」をご提供します。
 - これを参考にして、検討チームが現実的な対策をご検討いただけます。

3. 当ご支援の対象範囲 (Where)

- 対象とする業務
 - アプリケーションソフトウェアの保守業務
- 対象とする部門・対象者
 - (1)の業務を担当している部門の管理者および実務者
 - 複数部門同時実施も可能です。
 - 1回の研修対象は3チーム(実際の組織での3グループ)ですが、併行して複数3チームの実施も可能です。

4. 当ご支援の実施時期・期間 (When)

- サービス範囲により以下のとおりです。
- 対策立案までの場合……………1ヶ月
- 対策実施フォロを含む場合……………最大6ヶ月

5. 当ご支援の責任者 (Who)

- システム企画研修(株) 代表取締役 上野則男
- (株)データ総研 専務取締役 堀越雅明

6. 当ご支援のご利用料金 (How Much)

- 検討実施のご支援(2. 当ご支援の内容(What)、実施方法(How)の(2)部分)
 - 対策実施のフォロを含まない場合(期間1ヶ月)
 - 3チーム当たり105万円
 - 対策実施の遠隔フォロを含む場合(期間最大6ヶ月)
 - 3チーム当たり157.5万円
- 以上の料金には、2. 当ご支援の内容(What)、実施方法(How)の(1)(3)部分を含みます
- オプション追加はご相談ください。



お問い合わせ先：システム企画研修株式会社
 電話：03-5695-3130 FAX：03-5695-3131
 mind-pc@newspt.co.jp http://www.newspt.co.jp